第5章 多文化共生の推進のための施策・事業

北上市の多文化共生推進にあたり、基本目標ごとに関連する施策・事業及び活動指標を 定めました。市役所関係各課の取り組みの他、関係する民間事業所等にも協力を働きかけて いきます。

基本目標1 言葉の違いがあっても、公平にサービスが受けられる環境を作ります。

事業1 外国人転入者に対する生活相談 (主体 市、国際交流協会)

国際交流ルームの存在が多くの人に認知され、外国人住民のみならず、これまでどこへ相談したらよいかわからなかった日本人住民からの相談の増加が考えられます。

事業2 子育て、医療・福祉等サービスの多言語、ひらがな表記での情報提供 (主体 市)

市が発行する外国人住民が読む可能性のある公用文書については、わかりやすい表記(多言語・ひらがな)を増やし、確実に内容が伝えられるようにします。

事業3 外国人が医療機関を受診しやすくするための環境整備 (主体 民間、市) 新規

症状をうまく伝えられないために医療機関を受診しないということを避ける ため、外国語対応可能な医療機関の情報提供、通訳の養成・派遣などの環境 整備を行います。

事業4 公共施設の案内表示等の多言語表記の推進 (主体 市)

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。

事業 5 民間施設の多言語表記の推進 (主体 民間、市)

北上市多文化共生事業費補助金(多言語表記・無料公衆無線LAN整備)を活用 して民間事業所が案内看板等及びサービスの多言語化を推進します。

基本目標1の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	外国人相談件数	121	140	H26はアジアマスターズ陸上競
	(国際交流ルーム扱い分)			技選手権大会開催により、例年
				と異なる利用傾向のため実績
				値はH25を使用。
2	市公用文書のひらがな表記率	_	100%	
	(外国人あての文書に限る)			
3	医療機関外国人受入環境	_	実施	
	整備			
4	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
5	北上市多文化共生事業費補助	3件	3件	H27から無料公衆無線LANを
	金(多言語表記・無料公衆無線			補助対象としたため、実績値は
	LAN整備) 交付件数			H27(H28.1末現在)を使用。

基本目標1の成果指標

市公用文書のひらがな表記率(外国人あての文書に限る) 100%(平成32年度)





- 基本目標2 子どものうちから外国語、多文化に親しむ機会を設けます。
 - 事業1 ALT(外国語指導助手)の配置、通訳支援事業の実施 (主体 市) 国際的に活躍する人材を育成するためALT(外国語指導助手)派遣環境を 充実します。
 - 事業2 インターナショナルスクールの開催 (主体 市、国際交流協会) 国際的に活躍する人材を育成するため語学とともに外国文化に触れる機会を 充実します。
 - 事業3 文化施設、教育施設案内看板等の多言語表記の推進 (主体 市) 市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。
 - 事業4 外国人の地域活動参加への助成 (主体 自治会等、市) 新規 自治会等が行う外国人住民との交流を深める活動、防災訓練、外国文化を理解 するための講演会開催などの取組に対して、その取組を多文化共生事業費補助 金交付により助成します。
 - 事業5 外国語講座、日本語講座 (主体 市、国際交流協会) 日本人が外国人との交流を深められるように外国語講座を、外国人が日本の 生活になじむことができるように日本語講座を実施します。外国語講座はスペイン語、中国語、英語等を実施します。
 - 事業6 姉妹都市、友好都市交流の推進 (主体 市) 姉妹都市のアメリカ・コンコード市、友好都市の中国・三門峡市との交流を 継続します。

基本目標2の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ALT(外国語指導助手)によ	10/12回	30/30回	
	る、各学級あたりの年間国際			
	理解教育の授業回数			
	小学校/中学校			
2	インターナショナルスクール	94人	100人	H27から開催のため、実績値は
	事業参加者数			H27年度を使用。
3	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
4	北上市多文化共生事業費補助	_	2件	
	金(多文化共生)交付件数			
5	外国語講座開催回数	47回	52回	
	日本語講座開催回数	59回	70回	
6	姉妹都市・友好都市交流	継続	継続	

基本目標2の成果指標

インターナショナルスクール事業参加者数 100人(平成32年度)

平成27年度インターナショナルスクール事業の様子







- 基本目標3 外国人と日本人が交流する機会をつくり、相互理解を促進します。
 - 事業1 観光施設案内看板・パンフレット等の多言語表記 (主体 民間、市) 市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施するとともに、 北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語 化を推進します。
 - 事業2 インターナショナルスクール卒業生を活用した観光案内の実施 (主体 市) 新規

平成27年度から開講しているインターナショナルスクールの卒業生の成果発表の場として、また、年々増加する外国人におもてなしの気持ちを伝えるため、さくらまつりなどのイベントでの観光案内ボランティアを行います。

事業3 民間事業所に対する北上市多文化共生事業費補助金 (看板等の多言語化・無料公衆無線LAN整備)の交付 (主体 市)

民間事業所が実施する案内看板等の多言語化、外国人の要望が多い無料公衆無線LAN環境の整備に対して、北上市多文化共生事業費補助金を交付します。

- 事業4 外国人労働者を雇用する企業と関係機関の連携 (主体 民間、市) 外国人労働者雇用に伴う課題が生じた際に外国人労働者を雇用する企業と市、 県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を検討し ます。
- 事業5 ワン・ワールド・フェスタの開催 (主体 国際都市推進きたかみ市民会議) 平成25年度から開催しているワン・ワールド・フェスタを継続開催し、多文化 理解を進めます。
- 事業6 免税店の整備などインバウンド対策の実施 (主体 民間、市) 新規 北上市を訪れる外国人が利用する免税店を整備する来訪外国人旅行者の利便 性向上を図ります。

基本目標3の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	H27から無料公衆無線LANを
	北上市多文化共生事業費補助	3件	3件	補助対象としたため、実績値は
	金(多言語表記・無料公衆 無			H27(H28.1末現在)を使用。
	線LAN整備)交付件数			
2	さくらまつり観光案内ボラン	_	10人	スクールはH27から開講のた
	ティア数(期間中延べ)			め、実績値なし。
3	北上市多文化共生事業費補助	3件	3件	H27から無料公衆無線LANを
	金(多言語表記・無料公衆無線			補助対象としたため、実績値は
	LAN整備) 交付件数			H27(H28.1末現在)を使用。
4	企業と関係機関の連携	実施	実施	
5	ワン・ワールド・フェスタの	実施	実施	
	開催			
6	インバウンド対策の実施	_	実施	

基本目標3の成果指標

ワン・ワールド・フェスタの開催 継続(平成32年度)

平成27年度のワン・ワールド・フェスタの様子



基本目標4 当市の美しい環境を守り、安心・安全な地域社会を構築します。

事業1 外国人のごみ出し方法の理解促進 (主体 市) ごみの分け方、出し方の多言語版を発行、配布し、ルールを徹底します。

事業2 外国人の防災訓練への参加誘導 (主体 自治会等、市) 新規 災害弱者となりやすい外国人住民に地域等の防災訓練へ参加してもらい、 災害時に備えます。

事業3 外国人住民相談の実施 (主体 市、国際交流協会) 今後も増加が見込まれる外国人住民からの相談に対応します。









基本目標4の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ごみの分け方・出し方ポスター	実施	実施	
	の多言語版発行			
2	各自主防災組織等での外国人	_	16回	
	を含む防災訓練の実施回数			
3	外国人相談件数	121件	140件	H26はアジアマスターズ陸上競
	(市国際交流ルーム扱い分)			技選手権大会により例年と異
				なる利用傾向のため、実績値は
				H25を使用。

基本目標4の成果指標

各自主防災組織等での外国人を含む防災訓練の実施回数 16回(平成32年度)









基本目標5 災害時を中心に命を守る情報を等しく提供できるように取り組みます。

事業1 市ホームページ多言語化の推進 (主体 市)

平成26年度に多言語対応となった市のホームページの活用を促すとともに、 利用者の要望に応えて見直します。

事業2 市所管施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進 (主体 市) 新規

外国人の来訪が多い公共施設の無料公衆無線LAN環境の整備を実施します。

事業3 民間施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進 (主体 民間、市)

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が外国人から要望が多い無料公衆無線LAN環境の整備を推進します。

事業4 公共交通に係る多言語化推進 (主体 民間、市)

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語 化を推進します。

事業5 災害時の外国人に対する情報提供体制の整備 (主体 市) 新規

災害弱者となりやすい外国人住民に対して防災情報提供の体制を整えます。



基本目標5の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	市ホームページ多言語化の継	実施	実施	
	続			
2	市所管施設の公衆無線LAN	_	実施	
	環境を整備			
3	北上市多文化共生事業費補助	3件	3件	H27から無料公衆無線LANを
	金(多言語表記・無料公衆無線			補助対象としたため、実績値は
	LAN整備) 交付件数			H27(H28.1末現在)を使用。
4	北上市多文化共生事業費補助	3件	3件	H27から無料公衆無線LANを
	金(多言語表記・無料公衆無線			補助対象としたため、実績値は
	LAN整備)) 交付件数			H27(H28.1末現在)を使用。
5	多言語防災マニュアルの作成・	_	実施	
	配布			

基本目標5の成果指標

多言語防災マニュアルの作成・配布 実施(平成32年度)











- 基本目標 6 外国人、日本人双方が課題を持ち寄り、より快適に生活できる環境を創造 します。
 - 事業1 国際交流ルームの活用 (主体 外国人住民、日本人住民) 国際交流ルームが外国人住民、日本人住民に多く認知され、国際交流の拠点と して多くの人が来館します。
 - 事業2 国際都市推進きたかみ市民会議※との連携 (主体 国際都市推進きたかみ市民会議、市)

北上市の国際化推進のために設立された同会議と連携し、多文化共生指針施策 の進捗状況を把握し、必要な対応を検討します。

※ 国際都市推進きたかみ市民会議…北上市が国籍や民族を問わず、誰にもやさしく、暮らしやすく、そして、訪れても快適な多文化共生の国際都市に成長していくため、地域の国際化推進方針を定め、市民や各種団体等が情報を共有・連携しながら、協働でその実現に向け活動することを目的とする。(国際都市推進きたかみ市民会議会則から)

- 事業3 出前講座(外国人市民受入講座)の実施 (主体 自治会等、民間、市) 日本人住民が外国人を受け入れる際の心構えなどを学び、異文化を理解しな がら、地域で外国人を受け入れる体制を整えます。
- 事業4 国際交流・通訳ボランティアの養成 (主体 市、国際交流協会) インターナショナルスクールの開催などにより、外国人観光客、姉妹都市・ 友好都市訪問団の受け入れ時のおもてなしの際に活動する国際交流・通訳ボラ ンティアを養成します。
- 事業5 外国人労働者、企業と関係機関との連携 (主体 外国人住民、民間、市など) 外国人労働者雇用にともなう課題が生じた際に、外国人労働者を雇用する企業 と市、県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を 検討します。
- 事業 6 県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携 (主体 県、市町村、各国際交流協会など)

外国人住民に対する取組について、他市町村や県及び関係機関とその取組を共 有するとともに、外国人住民の意見も聞きながら、課題など様々な情報交換が できる場が必要と思われるので、連携を呼びかけていきます。

基本目標6の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	国際交流ルーム来館者数	4,415人	4,700人	H26はアジアマスターズ陸上競
				技選手権大会により例年と異
				なる利用傾向のため、実績値は
				H25を使用。
2	国際都市推進きたかみ市民会	実施	実施	
	議との連携			
3	出前講座(外国人市民受入講	0件	10件	H27から実施のため、実績値は
	座)利用回数			H27を使用。
4	国際交流・通訳ボランティア登	132人	170人	H26はアジアマスターズ陸上競
	録者数(法人登録含む)			技選手権大会により例年と異
				なる利用傾向のため、実績値は
				H25を使用。
5	外国人労働者、企業と関係機関	実施	実施	
	との連携			
6	県、市町村、各国際交流協会等	実施	実施	
	関係機関との連携			

基本目標6の成果指標

県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携 継続(平成32年度)



